

# 東区幼保小連携推進協議会便り

2020.12.8

発行 令和2年度 東区幼保小連携推進協議会代表者会

今年度は、予定していた3回の「東区幼保小連携推進協議会(うち 幼保小連絡会を含む)」がコロナ禍のため中止となりました。コロナの感染が拡大する中、各園や各校では手探りの対策が進められてきました。本来であれば、一堂に会して情報を共有したいところですが、今はその状況下ではありません。そこで、代表者会では、子どもの学びと育ちをつなぐ手立ての一助になればと思い、代表者会メンバーそれぞれの現場の状況や具体的な対応などを出し合い、区内へ発信することといたしました。ぜひ園内や校内で回覧いただき、次年度以降も円滑な幼保小連携推進に御協力いただきますようお願いいたします。



## 幼稚園、こども園、保育園

どの園も消毒、手洗いの徹底、大人  
の出入りの制限などを講じながら…

### 1. 感染症対策を講じながら遊びの中での学びを保障するための工夫

#### ◎密を避けて…分散、時差登園、遊びの場の分散

- ・可能な限り戸外で遊ぶようにしている。地域の公園等を活用し季節の移り変わりを存分に感じられるようにしている。
- ・異年齢交流は自由にしてはいたが、朝、夕の時間帯は人数調整をしながら保育を行っている。園庭の遊びは2クラス40人までとしている。おやつや弁当を園庭やホールで食べたり、パーテーションを使用し食べたりする。

#### ◎子どもと一緒に考えながら…環境を再構成

- ・子どもが自ら遊びの場を作ることを保障するが、中に入って遊んだり屋根や覆いになりそうな板積木や段ボールは最初から制限する等、園内の教材教具を整理したり見直したりした。
- ・個人専用のもとなるよう教具(例:鍵盤ハーモニカ)をさらに購入した。
- ・年長児とともに遊び方や遊具の使い方を考えることで、年長児が年少中児のモデルとなり、「静」「動」メリハリのある生活となっている。

#### ◎遊び方の工夫…ルールの変更、分散等での交流

- ・集会形式だった活動はクラス単位で行う。異学年との仲間意識や遊びの共有のため写真等を掲示する。
- ・「花いちもんめ」は手をつながない、散歩は一列で間隔を空けて歩くなどルールを変更した。

### 2. 幼児の思いと感染症対策に配慮した行事の工夫

#### ◎行事のねらいや目的を失わずにできるものは縮小して実施

- ・運動会や発表会は、学年単位の構成で行う。観覧の保護者の人数制限を行い、座席を指定制にする。
- ・他学年の様子が分かるように写真を掲示する。
- ・接触の少ない競技内容にし、競技や演目の合間や前後は用具や手指の消毒を行う。

#### ◎行事を通して子どもの成長を伝える…保護者の思いも考慮

- ・行事の様子を動画に編集し園のホームページやDVDで閲覧できるようにしている。



### 3.子ども同士の交流などが難しい中での入学への期待を高めるための工夫

#### ◎学校のイメージを持てるように…「心」のつながりを感じ合えるように…

- ・絵本を用いて学校の様子を知らせたり、就学時健診の様子を発表し合ったりしている。
- ・ランドセルや机を購入したことや学校に行って「チャレンジしたいこと」などを日常的に話題にしている。
- ・話を聞く場面等、成長していることを認め1年生への自覚が高まるようにしている。
- ・直接会えないが、近くの小学校の1年生や5年生とビデオレターや手紙などでの交流を計画している。

## 小学校



4月すぐに臨時休校となり、1年生にとっては6月からが本格的な学校生活のスタート!

### 1.今年の1年生の様子とスタートカリキュラムにおいて特に配慮したこと

#### ◎1年生の様子…後期(9月)からの成長

- ・6月の分散登校時は落ち着かない様子が多く見られた。密を避けるため、広い教室を使用。教師の声がよく届くようスピーカーマイクを使用し授業を行った。
- ・9月以降、特に運動会後以降は、学級としてのまとまりが出始めたり学習に集中する姿も見られたり、確かな成長を感じられるようになってきている。

#### ◎スタートカリキュラム…「安心」「楽しい」「自立」を大事に!

- ・合科的な学習や学校生活にうまく適応できるための配慮について学年内で工夫して取り組むようにしてきた。コロナ禍で家で過ごす時間が多く、体力低下が懸念されたためケガの予防に努めた。
- ・「学校に来ることが楽しい」「自分の居場所がある」「与えられることだけでなく自分で考えて工夫できる」など、入門期に不足していたことを洗い出し、時間に余裕ももたせた。(4月1週分の実施だが…登校後、好きな遊びをして落ち着けるよう、教室の隣に「にこにこルーム」として場を開設した)
- ・「生活科」を核にしなが、子どもの気付きを大切に横断的な学習を組んだ。

### 2.入学への期待を高めるための工夫や一日入学で予定している内容

#### ◎一日入学…学校は楽しいところ!と感じられるように

- ・新1年生と現1年生の交流を計画。直接的な触れ合いは難しいが、画像や手紙、掲示物などを活用する予定。また、これらの活動を通して現1年生の成長も促される内容を工夫したい。

#### ◎学校のイメージを持てるように…各学校のホームページの活用を!

- ・学校の様子分かる写真やビデオなどでの交流は有効だと思われる。学習や活動の様子が掲載されているホームページを是非、活用してほしい。

### 3.密を避けるなど、生活様式が変わりつつある中、幼児期に経験しておいてほしいことや育んでおきたい力とは

#### ◎とにかく、たくさん遊ぶ!…「遊び」や活動に思いきり浸る時間の保障を!

- ・自分の思いを大切に、のびのびと、友達と仲良くしながら、色々な経験をする中で頭も体も五感も全部フルに使っていっぱい感じたり考えたりしてほしい。
- ・自分の得意なことがある子や友達と一緒に遊ぶのが楽しいということを知っていれば、学校生活はきっと楽しいはず。たくさん遊ぶ中で考え思いを言葉で伝え合ったり、人の気持ちに共感したりする体験を重ねることで、してよいことや悪いことも分かるようになると思う。
- ・何かに思いきり浸る経験、充実感をもって取り組んだ経験は自信につながる、その時間を十分に保障してほしい。